

岡山大学部局自己評価実施規程

〔平成21年3月27日〕
〔岡大規程第21号〕

改正 平成22年3月31日規程第60号

（趣旨）

第1条 この規程は、岡山大学自己評価規則（平成16年岡大規則第22号）に基づき、岡山大学（以下「本学」という。）の部局における教育研究活動等の状況について当該部局が自ら行う点検及び評価（以下「自己評価」という。）の実施に関し、基本的事項を定める。

（目的）

第2条 本学は、部局の自己評価を定期的実施することにより、部局における諸活動の状況を明らかにし、組織の活性化を促すとともに、改善方策の立案に役立て、本学の教育研究活動等の水準の向上を図る。

（定義）

第3条 この規程において「部局」とは、各学部、大学院各研究科、資源植物科学研究所、岡山大学病院、地球物質科学研究センター、全学センター、附属図書館及び研究推進産学官連携機構をいう。

2 この規程において「部局長」とは、前項に定める部局の長をいう。

（実施方法）

第4条 部局における自己評価は、部局ごとに設定した目標の達成度を評価する「組織目標評価」と、当該部局における教育研究活動の現況を分析して評価する「現況分析評価」により実施する。

2 部局長は、前項に規定するほか、必要に応じて独自の方法により自己評価を実施することができる。

（組織目標評価）

第5条 組織目標評価は、毎年度、実施する。

2 組織目標評価の評価領域は、原則として、「教育」、「研究」及び「社会貢献（診療を含む。）」とする。

3 部局長は、毎年度当初に、前項の各評価領域について当該部局の実施目標を定め、当該年度末に、その達成状況について評価する。

4 部局長は、前項の評価の結果について組織目標評価報告書を作成し、学長に提出する。

（現況分析評価）

第6条 現況分析評価は、中期目標の期間の5年目に当たる年度に実施する。

2 現況分析評価は、大学院各研究科、各学部、資源植物科学研究所及び地球物質科学研究センターにおいて実施する。

3 現況分析評価の評価領域は、「教育」、「研究」、「社会貢献」及び「管理・運営」

とする。

4 第2項に定める部局長は、前項の各評価領域に係る当該部局の活動状況及びその成果等を分析し、評価する。

5 第2項に定める部局長は、前項の評価の結果について現況分析評価報告書を作成し、学長に提出する。

(実施体制)

第7条 部局長は、自己評価の実施に当たり、専門的検討や実質的な作業を行う組織を設置するとともに、当該部局における自己評価の実施に関して必要な事項を定めるものとする。

(評価結果の活用等)

第8条 自己評価の結果は、各部局の教育研究活動等の改善に活用するとともに、本学の経営に活用する。

2 自己評価の結果は、刊行物、ホームページ等への掲載その他の方法により公表する。

(その他)

第9条 この規程に定めるもののほか、部局における自己評価の実施に関し、必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。